

活用事例

- 橋長 : 121.5m 幅員 : 2.1m
- 橋梁形式 : 単純合成鉄桁×4連
- 対象部位・部材 : 主桁、横桁、床版
橋脚、支承、地覆
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
: BR020006-V0120
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び平面図



○点検支援技術の効果

- ・河川上での点検が可能。
- ・通行規制を伴うが、歩行者の通行は可能。
- ・桁間の横桁、横構を避けながら近接可能。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・足場設置の場合とほぼ同じ範囲の写真撮影が可能。
- ・デジタルクラックスケールでひびわれ幅が確認できる。
- ・打音確認が可能。

○使用時の留意事項

- ・雨天時、強風時はカメラのブレ、水滴により実施困難。
- ・支承側面等は、構造により近接可能範囲が制限される場合がある。
- ・叩き落とし等が必要な場合は、近接目視の併用が必要。



写真-1 クラックゲージによるひびわれ幅の測定状況

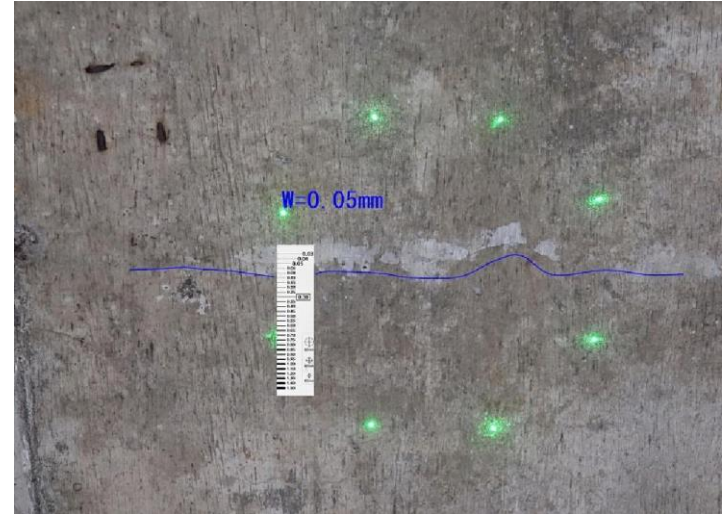


写真-2 リングレーザーポインターによる形状計測状況



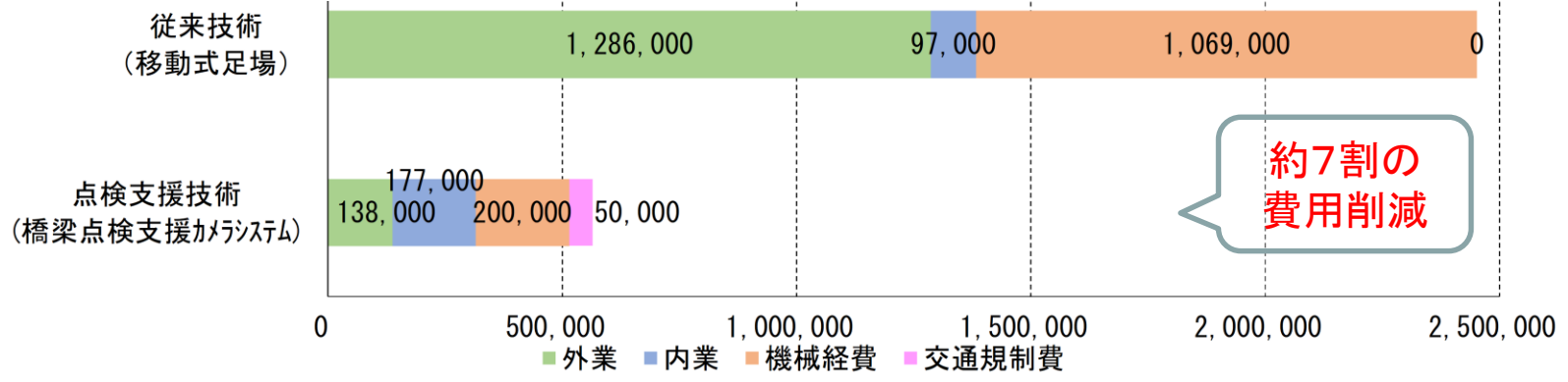
写真-3 打音状況



写真-4 モニターによるライブ映像の確認状況

コスト比較

比較条件: 上部工・下部工を点検した場合のコスト比較。
 評価: 従来技術(移動式足場)と比べ、外業および交通規制費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	橋梁点検支援カメラシステムによる画像計測
内業	調書作成	調書作成 (撮影画像へのデジタルトレース含む)
比較対象	移動式足場 (ラック足場)	橋梁点検支援カメラシステム
合計金額	2,452千円	565千円
工程	9日	3日

○諸条件
 橋面積: 205m²
 橋脚高: 7m (GL~橋脚天端)
 天候: 小雨
 対象部位・部材: 第1~3径間, P1, P2
 点検時間: 9:00~17:00
 打音点検: 有り
 たたき落とし作業: 無し
 積算: 業者見積もり (R2.8)
 前回の健全度: II判定
 その他: 前回点検で塗膜割れ無し